

科目名: 社会学概論		科目コード	GA36
科目主査: 小林 孝雄		単位	2
担当講師: 井原 久光、小林 孝雄、佐藤 和雄、日隈 信夫		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>社会学は「社会秩序をいかにして可能かを問う学問です。本授業は、現代社会の構造と機能について、受講生のみみさんとともに社会学の様々な観点から問い直すことを目指します。本科目では、まず社会学の誕生から現代の社会学者たちの学説を学習します。次に、身近な社会問題を取り上げて、それらを社会的な視点で考察することで理解を深めていきます。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>テキストは、100のテーマでまとめられています。事前に通読し、気になった点、わからない点を記録しておきましょう。とくに、以下の5つの項目は精読してください。「008この社会は正常です」「010自分がじぶんであるために」「012家族って何?」「022儲ける者は救われる」「036決めつける暴力」</p>		
テキスト	『本当にわかる社会学』現代位相研究所編, 日本実業出版社, 2010年		
この科目の到達目標	<p>①古典から現代社会学までの学説を理解し、現代社会で生じる様々な現象を社会的視点から説明できる。 ②社会学者たちの思考を学び、現代社会の諸問題について社会学の用語を用いて考察できる。</p>		
成績評価の方法	<p>課題、個人ワーク、グループワーク、最終試験など総合的に評価します。スクーリングではカメラ・マイクを使用する場合があります。詳細は担当教員から説明があります。</p>		
事後学習	スクーリングで学習した社会学の基礎概念をもとに、身近な社会現象を観察・記述してください。		
事後学習の参考文献	『アンビシャス 社会学』櫻井 義秀・飯田 俊郎・西浦 功 (編著), 北海道大学出版, 2014年 本書は、テキストを一読したあとに、より体系的に学習したい初学者に推薦します。		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			